

平成29年1月1日診療分より こども医療費の「窓口無料化」 が始まります。

南風原町では、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成を図ることを目的に、平成29年1月1日より、「こどもの医療費窓口無料化（現物給付）」を開始します。

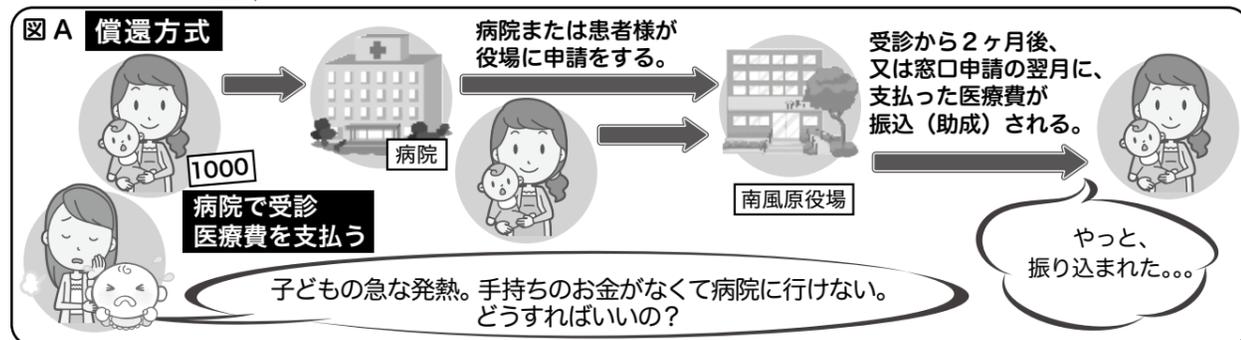
これにより、健康保険適用分の医療費の自己負担額について窓口で支払うことなく、医療を受けられるようになります。 ※保険適用外のものなど、窓口無料化できないものもあります。その場合は、窓口で支払う必要があります。

確認 対応出来る病院について、ホームページで公開しています。

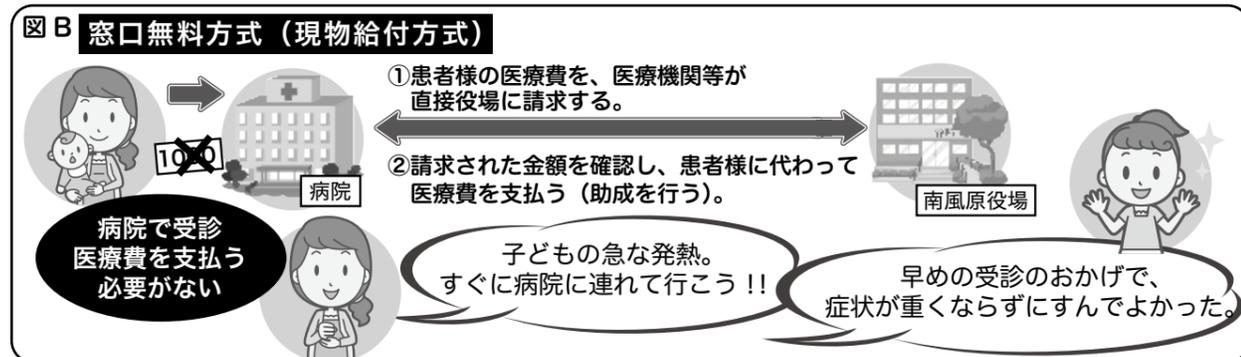
沖縄県においては「医療費の窓口無料化」はまだ始まったばかりの制度のため、対応できる医療機関等が少ない状況です。対応できる医療機関等については、南風原町役場のホームページにて随時更新してお知らせします。窓口無料化での医療機関等をご利用の際は、ホームページを確認してから受診してください。

また、インターネットが利用できない場合は、こども課または各病院へお問い合わせください。

何が変わるの？ これまでは、下の図Aの「償還方式」によって、医療費の助成を行っていました。



1月1日より、図Bの「窓口無料方式（現物給付方式）」が加わります。



どういったら窓口無料化が受けられるの？

受給資格がある方には、12月中に新しい受給者証を発送しています。1月1日以降はその受給者証と加入している健康保険証を医療機関等の窓口に表示することにより、窓口で医療費を負担することなく、無料で医療を受けることができます。

南風原町こども医療費助成金受給資格者証 (現物給付・自動償還)

※この証を医療機関(薬局)の窓口に表示することで現物給付(現物給付対応出来ない場合は自動償還)により、医療費の助成が受けられます。

現物給付	事業番号	6	受給者番号	377777784
自動償還	事業番号	1	受給者番号	377777784

★お願い★ 「#8000」(小児救急電話相談窓口)を活用してください★

入院や医療費が高額になるときは、ご加入の健康保険から『限度額適用認定証』を取得し、医療機関等の窓口に表示してください。提示がない場合は、窓口無料(現物給付)方式や自動償還方式による助成が受けられない場合があります。

小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院などのアドバイスを受けられます。救急外来は、緊急の患者さんが多く利用しています。救急医療を利用すべきか迷ったとき、是非活用してください。(利用時間：毎日19時～23時)

【お問い合わせ】 こども課 ☎889-7028 インターネット 南風原 こども医療 で 検索

あけましておめでとうございます

南風原町のみなさま
今年もよろしくお願ひいたします

年頭のごあいさつ*****



南風原町議会議長
宮城 清政

平成28年の年頭に当たり、町民の皆さまに謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆さまにはお健やかに新しい年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、リオデジャネイロでのオリンピックやパラリンピックにおいて、日本の選手の皆さんが活躍され、感動と明るい話題を提供いただきました。

一方で、4月に発生した熊本大地震による橋梁や家屋倒壊などの被害、夏場に発生した台風に伴う豪雨により野菜高騰が続くなど、町民の生活を脅かす災害が数多く発生いたしました。

このような中にありまして、町民の皆みなが安心・安全に、また、将来に向け、明るく健やかに暮らしていただくためには、これまでも増して、地方自治体の手腕と能力が求められる時代を迎えているものと考えています。

南風原町議会といたしましても、町長と並ぶ町民の代表機関として、このような時代の変化に的確に対応し、本来の役割を認識する中で、町民の皆さまの意見や思いを効果的かつタイムリーに反映できる方策を探るとともに、その責務をしっかりと果たしてまいりたいと強く感じております。

町議会では、町の施策の点検や評価を行うとともに、課題解決に向けた提言や提案を積極的に行ってきました。また、本会議をインターネット中継するなどの開かれた議会運営はもとより、議会機能の充実・強化に向けた様々な改革に取り組んでまいりました。

今後10年の本町の歩むべき指針である、第五次南風原町総合計画についても調査特別委員会を設置し、各分野別の目標、効果や効率性など、十分なる審議を重ねてまいり所存であります。

議会は二元代表制の一翼として、町民の総意を町政に反映させる重要な役割を担っております。21世紀の輝かしいまちづくりのために、町民の皆さまには、積極的に町政及び町議会に参画されるようお願いいたします。

町民の皆さまにとって、この一年が素晴らしい年でありますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



南風原町長
城間 俊安

あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は町政への温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、町内4幼稚園において、小学校入学に向けた幼稚園教育の充実のため4歳児保育が開始されました。4歳児クラスの開設により教育の充実だけでなく、保育所の定員枠を空け、待機児童の抑制を図ることができました。区画整理が進む津嘉山北地区においても、新しい住宅が増え、年々活気が増しており、今後も若い世代が増えていくと思われま。

また、国内外各地で大規模災害が起こる中、町においても防災訓練が行われ、多くの方に安全安心について考えていただく良い機会となりました。11月に行われた「ふるさと博覧会」においては、福祉まつりや児童館まつり、平和コンサートと同時開催され、これまで以上に町民の皆さまに楽しんでいただける内容であったと感じております。その他、2度目となる名古屋グランパスの春季キャンプの開催や島尻郡陸上大会での総合優勝、「世界のウチナンチュ大会」の関連行事である「南風原人歓迎会」の開催など、実りの多い一年となりました。

さて、本年より町では「こども医療費の窓口無料化」が開始されます。医療機関窓口での支払いが不要となる「現物給付」を開始することで早期の受診を促し、病気の早期発見や重症化の予防に繋がると考えております。また、本年は新たに第五次総合計画によるまちづくりがスタートします。新しい総合計画のもと、「平和」「自立」「共生」を基本理念に本年も町民福祉と教育文化の向上、産業振興など様々な方面で未来へ繋がる事業を展開してまいります。町民の皆さまにおかれましては、「共につくる黄金南風の平和郷」を目指し、引き続き「協働」のまちづくりへご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆さまの益々のご多幸とご健康を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

町内の酉年生まれ 2,679人 (平成28年11月末現在)

大正 10 年生まれ (95 歳) … 33 人	昭和 44 年生まれ (47 歳) … 484 人
昭和 8 年生まれ (83 歳) … 182 人	昭和 56 年生まれ (35 歳) … 528 人
昭和 20 年生まれ (71 歳) … 186 人	平成 5 年生まれ (23 歳) … 389 人
昭和 32 年生まれ (59 歳) … 434 人	平成 17 年生まれ (11 歳) … 443 人